

毎年の6月23日は何の日か知っていますか？この日は「沖縄慰霊の日」といって、1945年の3月に始まった太平洋戦争の中での最大最悪の激戦である「沖縄戦」が、合計20万を大幅に超える死者を出して終わった日です。当時沖縄は、日本本土の防衛のための防波堤とされ、沖縄に住むすべての人たちが、北海道・本州・四国・九州の日本国民を守るための犠牲になったのです。館長が学生時代には中学生や高校生や大学生を中心に、若い世代の人たち全員がこのことを学んでいました。しかし今の若い人たちはそのような沖縄の悲劇を知らない人が多いと思いますので、今回のASSETSに載せました。出典は「毎日新聞」の夕刊です。


3年)6月17日(木)夕刊 4版 総合 6

## 学ぶ沖縄戦

Q：76年前に沖縄で何があったの？  
A：当時の日本は、米国をはじめとする連合国との太平洋戦争中でした。米軍は1945年3月26日に沖縄本島西の慶良間諸島に、4月1日に沖縄本島に上陸し、日本軍との地上戦が始まりました。これが沖縄戦です。逃げ場も少ない小さな島での地上戦は約3カ月に及び、軍人だけでなく多くの一般住民が巻き込まれて犠牲になりました。太平洋戦争末期、日本は米軍による空襲や原爆を受けましたが、米軍の地上侵攻があったのは現在の日本国土では沖縄と硫黄島（東京都）だけです。

沖縄県によると、沖縄戦での死者は約20万人。米軍は1万2520人で、残りの19万人弱が日本の犠牲者です。このうち日本軍の軍人・軍属は9万4136人で、一般住民は約9万4000人（推計）。軍人・軍属の中にも沖縄県出身者が2万8228人いたとされ、一般住民と合わせると当時の県民の4人に1人に当たる約12万人が亡くなりました。

沖縄戦では「鉄の暴風」と呼ばれる米軍の激しい砲撃のほか、住民同士が手をかけ合った「集団自決（強制集団死）」、日本軍による住民のスパイ視や殺害、食糧の強奪、さらに餓死などが起きました。小さな島々で一般住民を巻き込んだ地上戦であったがゆえに、その悲惨さはまさに「地獄絵図」でした。



白旗を手に投降する少女  
—沖縄県公文書館提供

沖縄戦での日本軍の組織的戦闘の終結から6月23日で76年。なぜ沖縄が戦場となり、多くの悲劇が生まれたのかを考える。 —随時掲載

76年前に何があったの？

死者20万人の「地獄絵図」



不発弾なお1900トン

## 負の遺産 世代超え

「鉄の暴風」と呼ばれるさまざまな砲撃が米軍から加えられた太平洋戦争末期の沖縄戦。76年を経ても沖縄県内では日常的に不発弾が発見され、2020年度は自衛隊が約6500回出動し処理にあたった。平均すると1日2回弱の計算だが、それでもなお約1900トンが残るとされる。不発弾の爆発で命を奪われた人も多く、苛烈な地上戦が残した負の遺産が沖縄の地中に潜んでいる。

「点火用意、点火」。陸上自衛隊の処理隊員の声に合わせ、「ボン」と破裂音が空に響いた。6月9日、宜野湾市喜友名米軍西普天間住宅地区跡地で、4月に見つかった米軍製5インチ砲弾（直径12・7センチ、長さ35センチ）の処理が行われた。構築した直徑2メートル、深さ6メートルの穴に隊員が不発弾をクレーンで移し、特殊工具で信管を破壊した。陸自第15旅団の坂本雄太・第2処理班長は「円滑かつ安全に処理できた。作業はいつも緊張するが、県民のために活躍できてうれしい」と語った。

1945年3月下旬から約3カ月間にわたる地上戦となった沖縄戦で、米軍は空海、陸からおびただしい砲撃を浴びた。戦後、沖縄が米軍統治下にあった72年間に、住民や米軍によって約500トンが処理された。日本に復帰した72年以降は20年度までに自衛隊が約2094トン、処理。発見が困難で永久に見つからないとされる500トンを除くと、今も1906トンが地中に眠っているとみられる。

自衛隊は24時間態勢で待機し、県警を通じて不発弾発見の連絡があれば、陸上は陸自が、海中は海上自衛隊が駆けつける。処理隊員は現場で不発弾の状態を調べ、運搬が危険なものには後日、爆破や信管破壊などの方法で現地処理する。20年度は陸自が約650回出動して12・8センチ海自は4回の出動で1・65センチ海自は18年には那覇市の観光スポット「国際通り」の一部が約1時間わたって立ち入り規制された。また、10年

## 平和祈り 海空超え

太平洋戦争末期の沖縄戦で犠牲となった人を悼む「慰霊の日」(23日)に開かれる沖縄全戦没者追悼式の前夜祭が22日、糸満市摩文仁の沖縄平和祈念堂であった。沖縄県には新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令中で、関係者のみが参加し、76年前の犠牲者を追悼して平和を祈った。

前夜祭では、平和の祈りが世界一の「七つの海」を渡って響く

「平和の礎」に刻まれた日米など5カ国・地域の犠牲者をして、公園内で5本のサテライトが「平和の光の柱」として夜空に向かって放たれた。

【山口桂子】



犠牲者をしのび、夜空に向かって伸びる「平和の光の柱」—沖縄県糸満市の平和祈念公園で22日午後8時14分、平川鏡之撮影

## 殺人AI兵器 世界初使用か

人工知能(AI)を持ち、人間の意思を介さずに敵を自動的に攻撃する「殺人AI兵器」が昨年、内戦下のリビアで実戦に使用されたとみられることが、国連安全保障理事会の専門家パネルの報告書で22日分かった。トルコ製の小型無人機で、兵士を自動的に追尾、攻撃した。死傷者など被害が出たかどうかは不明。

「自律型致死兵器システム(LAWS)」と呼ばれる殺人AI兵器の実戦投入が確認されたのは世界初とみられる。倫理面からの批判は必至、国際的な規制を求める声が強まりそう。

### 昨春 内戦下のリビア

報告書はリビア北東部陸路の無人機の映像の写真を掲載しており、パネルは回収した映像を分析した。また、情報元の機密指定を理由に詳細を明らかにしていない。

AI兵器に詳しい京都産業大学の岩本誠吾教授は「比較的簡易な構造だが、自律型で攻撃し続ける無人機を追尾し攻撃した。これは世界初のケース」と述べ、懸念を述べた。

無人機による攻撃は、米軍がアフガニスタンやパキスタンでテロリスト殺害に用いた例があるが、いずれも地上の操縦員による遠隔操作。今回の無人機はAIによる識別機能を備え、犠牲者の指図なしで目標を認識、攻撃したという。

報告書によると、無人機はトルコの軍事企業ASTMが開発した「Kararguz 2」で、4個の回転翼で飛行し、弾薬を搭載。昨年3月に始まった暫定政権の作戦で使用され、軍事組織「リビア国民軍(LNA)」の兵士が数回無人機を追尾攻撃した。パネルのメンバーは、対抗措置の取方、アウン・シュアリー・クダフィ氏に共同通信の取材に「取りやめ」の意向を告げられなかった。

リビア内戦ではトルコが後押しする暫定政権、ロシア系が支援するLNAが対立、各勢力が無人機などを搭載した新型兵器の実験場になっているといわれる。

リビアは武器禁輸などの国際制裁対象。軍事や金融などの専門家6人で構成する専門家パネルが履行状況を調べ、報告書まとめていく。

【共同】

【上】以前ASSETSで、オバマ大統領が出した命令で「ドローン」と呼ばれる無人の殺人飛行機が、グーグルの社員によって操作され、知らないうちにゲーム感覚での西アジアの人たちへの殺人が実行されたことを教えました。上の記事は、更に進化して「AIを搭載したドローンが、自分の判断で攻撃を仕掛けた」というニュースです。つまり、ドローンを打ち上げれば、人間がかかわることなしに、ドローンが、組み込まれたデータをもとに勝手に敵を見つけて攻撃をしたということです。大変な時代になりました。攻撃を仕掛けたのはトルコで、攻撃されたのはリビアです。いつの日か世界中で、軍国主義者の支配に反対する一般国民のすべてがドローンに殺される時代が来るでしょう。これは事実であって空想の話ではないのですよ。今の時代、平和を守り国際社会がいがみ合わないで協力し合うことがいかに大切であるかをわかってくれたら有り難いです。(館長)

【上】の「沖縄戦」が終わったあと、広島と長崎に原子爆弾が落とされて太平洋戦争(=第二次世界大戦の中のアジア戦線)は終わりました。その後1951年のサンフランシスコ平和条約が結ばれるまで、日本は独立が認められませんでした。更にひどいことに、沖縄県は1972年まではアメリカ合衆国の植民地でした。その上今でも日本にあるアメリカ軍の基地の70%が沖縄にあり、毎日轟音を立てて離発着して県民の生活を破壊しているのです。どう思いますか？

現代が学べる 志 成 館

【下】200年あまり前のドイツにはゲーテという大文豪が生きていました（とても有名で評価が高い小説家のこと）。同じころ近くにガレットという先生がいました。この先生は冗談が大好きで、生徒たちをからかったり笑わせたり時には本当に間違えて嘘のことを教えていたようです（笑）。黒字に白文字の枠の中の文章のどこがおかしいかわかりますか？ 答えは右隅にありますよ。

# 抱腹絶倒の迷言・失言録

## 200年前のドイツ「伝説の教師」

ベルリン特派員をしていた2017年、よく「伝説の教師」の話をドイツ人から聞いた。といっても約20年前に世を去った人物である。ヨハン・ゲオルク・ガレット・ガレット（1750～1832年）という歴史教師で、ドイツ東部ゴータのギムナジウム（日本の中学校在相当の教壇に立ち、想像を絶する失言を繰り返した。今回は、ドイツを笑いの渦に包んだ名物先生の失言を紹介したい。

失言の数々は、先生の没後に本にまとめられた。ドイツでも原書を買ったが、発音が一つずつ簡易書きで記されていて読みやすい。タイトルは「Das groeste Insekt ist der Elefant」(世界最大の昆虫はゾウである)。世界の昆虫はゾウである。約1200年の薄本で、日本でもドイツ文学者の池内紀氏の編訳で白水社から翻訳書が出ている。

原書の序文には「生徒たちがうらやましい」と書かれているが、読んでいくうちに確かにそんな気持ちになる。以下、先生の失言・言い間違いを紹介する。

「英国では、女王は常に女性であるから女王と呼ばれます。王は若くして生まれました。世界最大の昆虫はゾウです。来週、赤道に行きます。」

「1800年代、おそれなく当時の教え子たちによってまとめられた。だが最初は明確な筆者も分からない印刷物だったらしい。正式な本となつたのは1860年代で、ベルリンの書店から出版された。以後、失言録は繰り返す。

「試験の際に最も大事なことは、健康であることである。」

「探田新一、写真も。」

「随時掲載（登場する人物の肩書などは原則として取材当時のものです）」

# 学校接種推奨せず

## 同調圧力生む懸念

### 文科省

新型コロナウイルス感染症の12歳以上の児童・生徒への接種について、学校を会場にした集団接種は推奨しない考えを明らかにした。文科省は22日の閣議後記者会見で、萩生田光一文科科学相は、22日の閣議後記者会見で、新型コロナウイルス感染症の12歳以上の児童・生徒への接種について、学校を会場にした集団接種は推奨しない考えを明らかにした。文科省は22日の閣議後記者会見で、萩生田光一文科科学相は、22日の閣議後記者会見で、萩生田氏は学校を会場に

【左】学校ではコロナ=COVID-19ワクチンを打つ事を「推奨しない」ということだそうです。いろいろな事情があるのですが、最大の原因は、「子供たちは集団行動に走ることが多く、ワクチンを打っていない生徒を集団でいじめる可能性があるから」なのです。「同調圧力」という難解な言葉が使われていますが、早い話が「集団的ないじめ」のことなのです。この記事も2021年6月下旬の記事からです。コロナ・ワクチンもまだ完全に信用できるものではなく、打った後すぐだけではなく長い時間がたって初めて重大な副作用（副反応）が生じる可能性もあるのです。ですからワクチンを打つか打たないかは「個人の選択の自由」に任せるべきなのです。

# 英語民間試験断念へ

## 共通テスト 25年以降、記述式も

### 文科省

大学入試改革の方向性を議論する文部科学省の有識者会議は22日、大学入学共通テストでの英語民間試験と記述式問題の導入について、「実現は困難」とする提言案を大筋で了承した。文科省は提言の趣旨を踏まえ、2025年以降の共通テストの出題方針と内容を夏ごろを目途に公表する。「入試を変えれば教育も変わる」という理念で推進されてきた大学入試改革だったが、紆余曲折の末に改革の「2本柱」が倒れる見通しとなった。

英語民間試験は「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく評価すること、記述式問題は思考力や表現力をみることに狙いがあった。提言案は入試での導入の意図について、「グローバル化に対応する上で総合的な英語力は欠かせない」「自らの考えを論理的にまとめる能力は、専門分野を学ぶ上で必要」と理解を示したが、共通テストでの導入には、いざいざ否定的な結論となった。

英語民間試験に代って「試験によって会場数、

【左】大学入試のセンター試験を、民間会社の「ベネッセ」が請け負う予定でした。しかし色々な事情が重なり、結局は中止になりました。

しかしこの問題の最大のポイントは、国立大学のような公的な大学の入試を、営利（＝金儲け）を目的とする業者に任せることは「憲法23条違反である」ということなのです。23条は「学問の自由と大学の自治」を保障しており、民間企業に、人生を決めるような入試の問題作成や採点をさせるなんてキチガイ沙汰なのです。

安倍総理やその周りの閣僚や官僚や政治家たちが、企業から政治献金などの大金をもらって、高校生の努力をお金で決めようとしていたのです。恐ろしく無責任で「人権感覚」がない指導者たちなのですが、わかっていましたか？

この志成館の「ASSETS」のような、直接には学校の点数に結び付かなくても、人生を通じて必要とされる大切な知識は早くから身につけておいてください。志成館の「ASSETS」は、ホームページ上に載せていますので、誰でも見るすることができます。大切なことは、頭が良い人間になることではなく「立派な人間になること」なのです。成績も大切です。しかし「強く」そして「豊かに」さらに「平和に」なおかつ「楽しみながら生きていく」ためには、学校での点数以上に大切な知識や教養があることを理解してください。 ※今回のASSETSも早めにアップします。全カラー版です。

答 ①生まれた時は誰でも若い ②女王は女性であるから女王と呼ばれる ③象は昆虫ではない ④赤道は観念的な物＝知識として存在するものであり、特定の「場所」ではない